



居場所づくりから考える みんなで社会で子どもを支える “協育”の取り組みについて

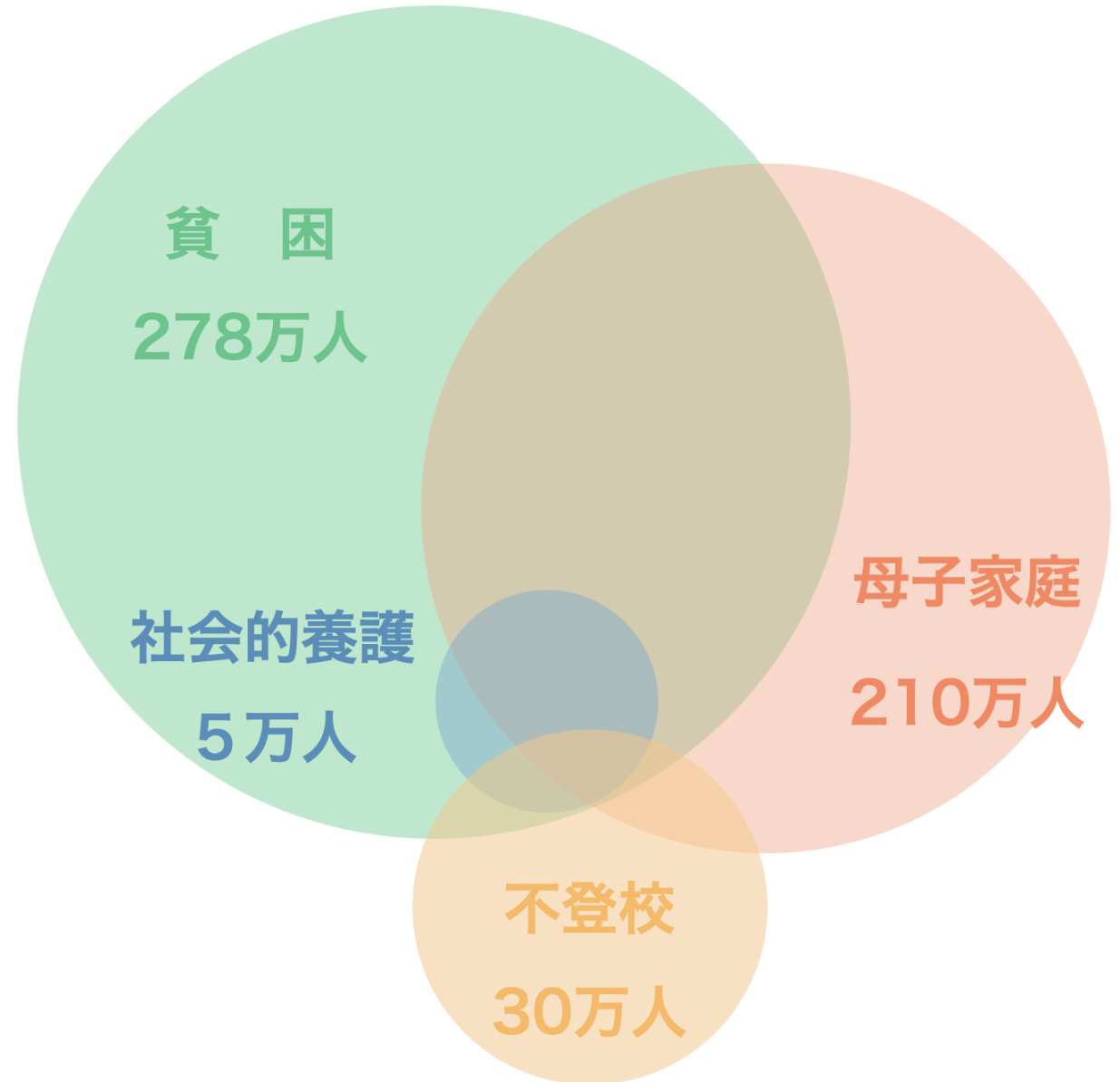
特定非営利活動法人ターサ・エデュケーション
代表理事 市村 均光

私たちについて

すべての子どもたちが未来にときめく社会

私たちが解決する問題

子どもの貧困



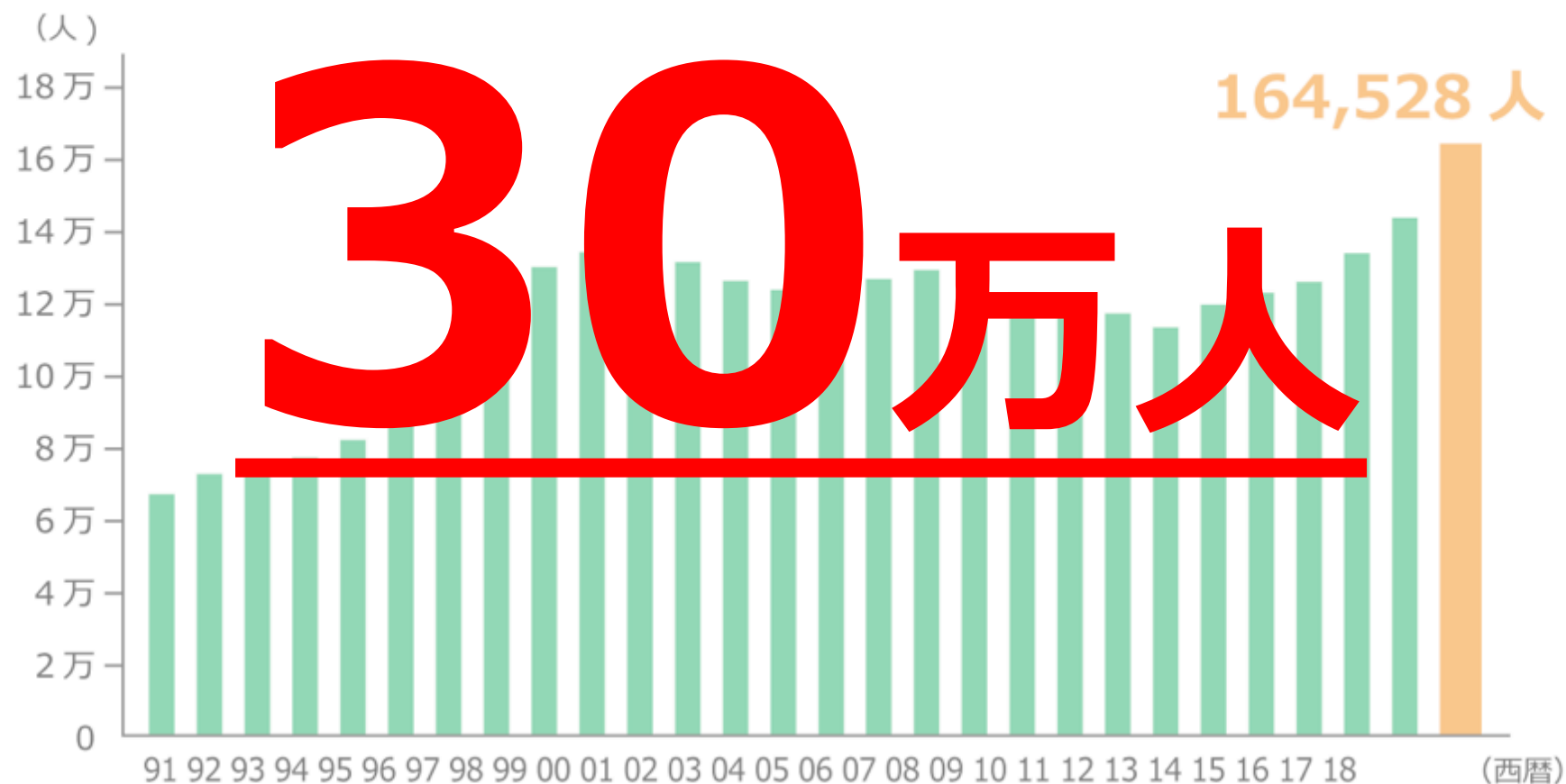
7人に1人の子どもが、「貧困」状態



小中学校不登校の児童生徒数の推移

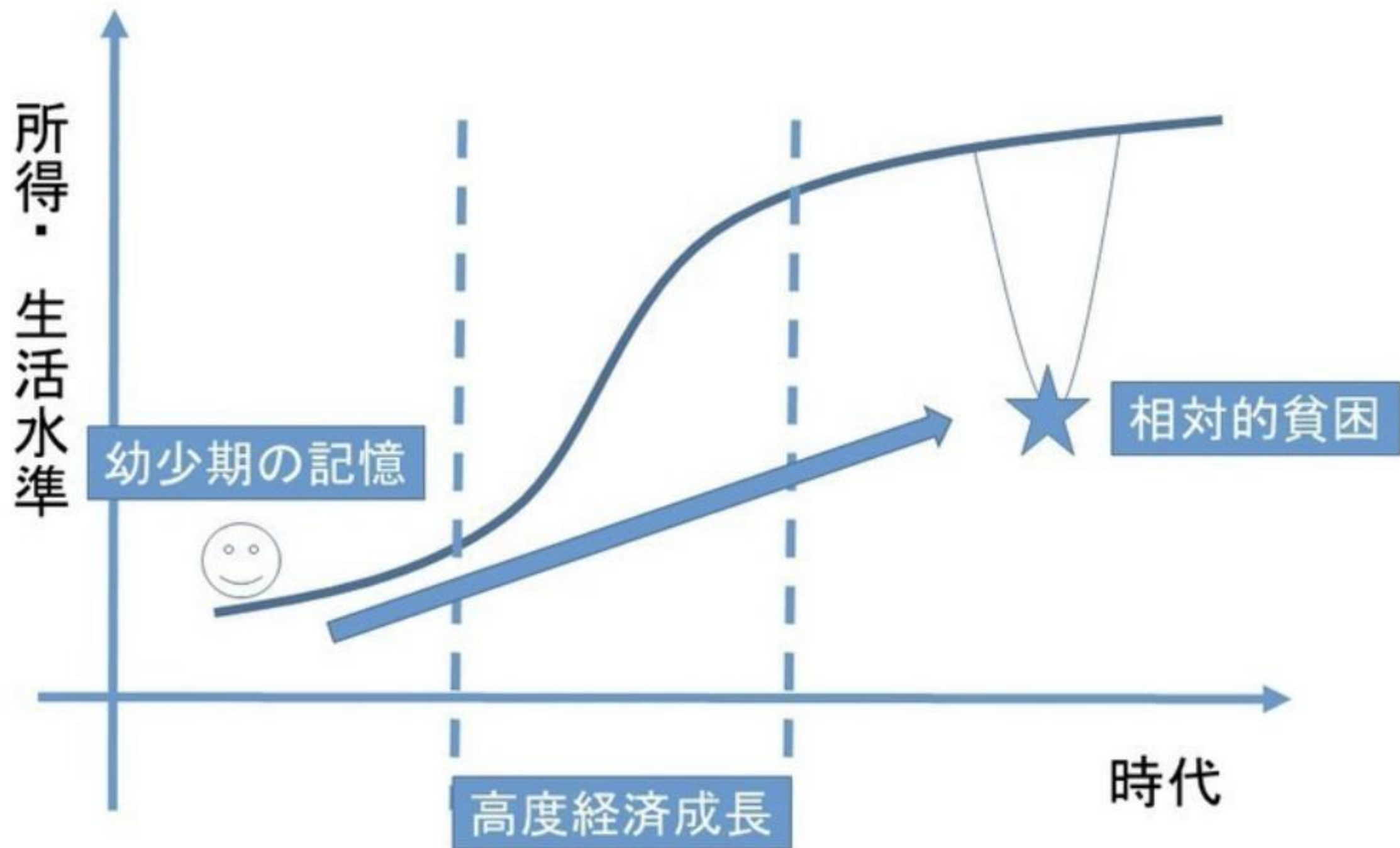
出典：文部科学省

「平成 30 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」



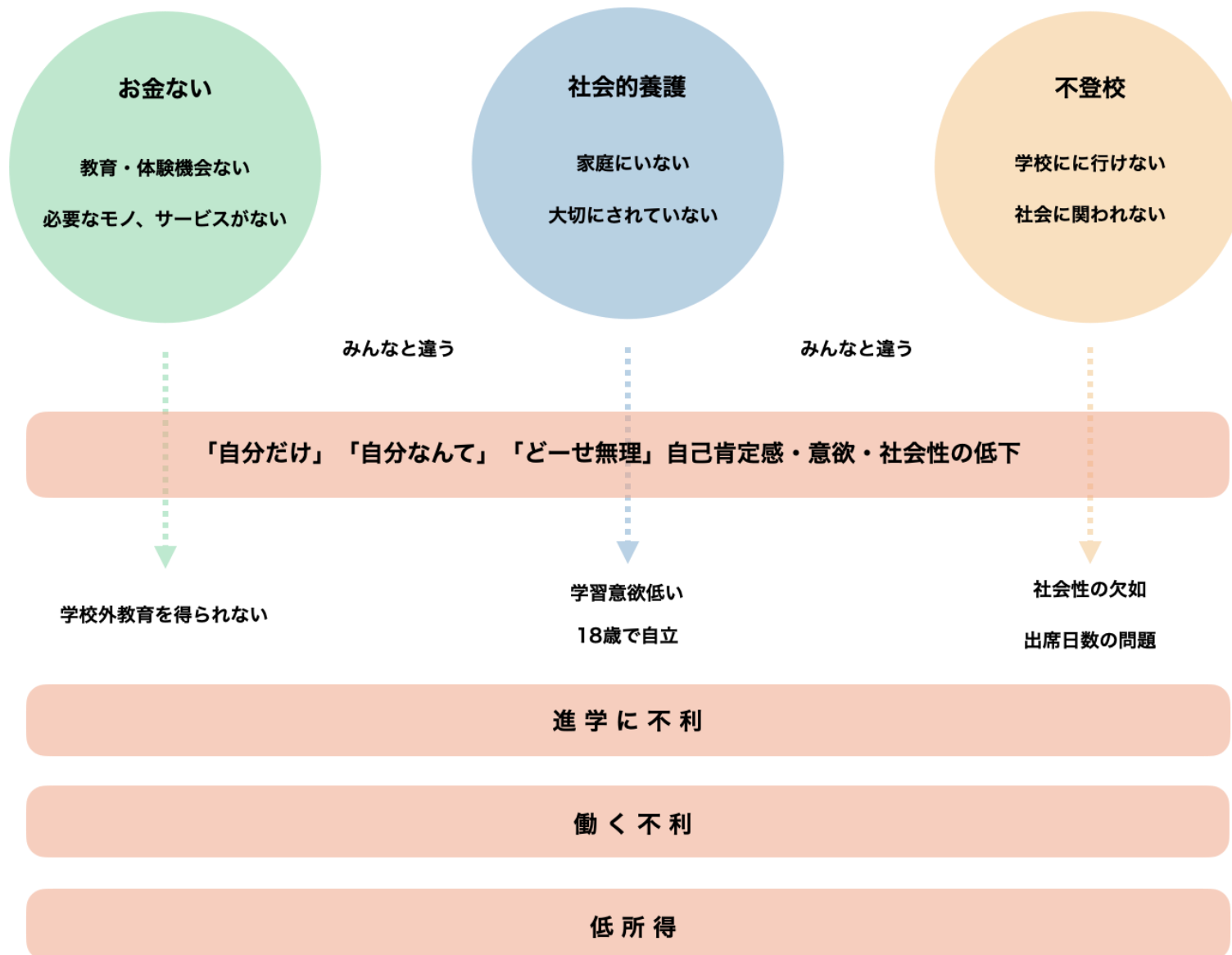
貧困とはなにか

- 昔の方が大変だった
- 海外の方がもっと大変
- 日本には餓死は少ないし..



貧困 = 貧乏 + 孤立

現在の社会構造では、
子どもたちの今も、
子どもたちの未来も、
生きづらいまま。



子どもの可能性をフェアにする

子どもたちが
どんな状態にあったとして
も、

子どもたちそれぞれが
自分の未来を描くことが
できるための支援を





だれでも学べる **Note Movies**

教員が撮影した無料学習動画のWEB配信事業



社会で応援する **フレーベン**

養護施設に住む子どもを対象にした個別学習支援



孤立をつなげる **SAME BOAT**

生きづらさを抱える親子をつなげるイベント開催



学びの選択肢をつくる **フリースクールこらんだむ**

不登校の小中高生を対象とした居場所の運営事業

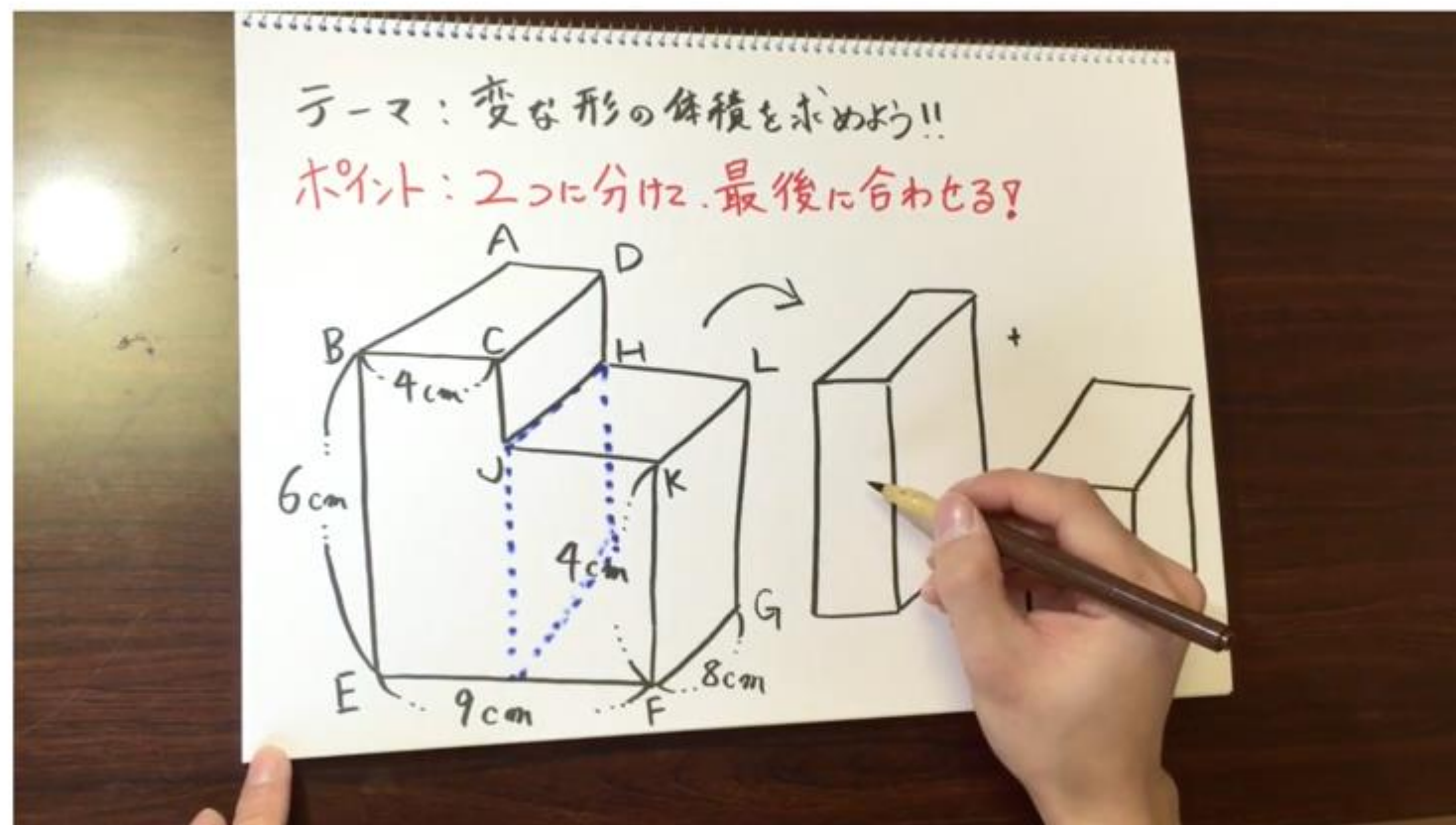


居場所と学びの拠点 **ハンズ**

ひとり親家庭児童の居場所型学習支援教室運営事業

複雑な体積の求め方

© 2020年5月17日 Note Movies 小学5年生 Pickup 図形





フレーベン（施設児学習支援）



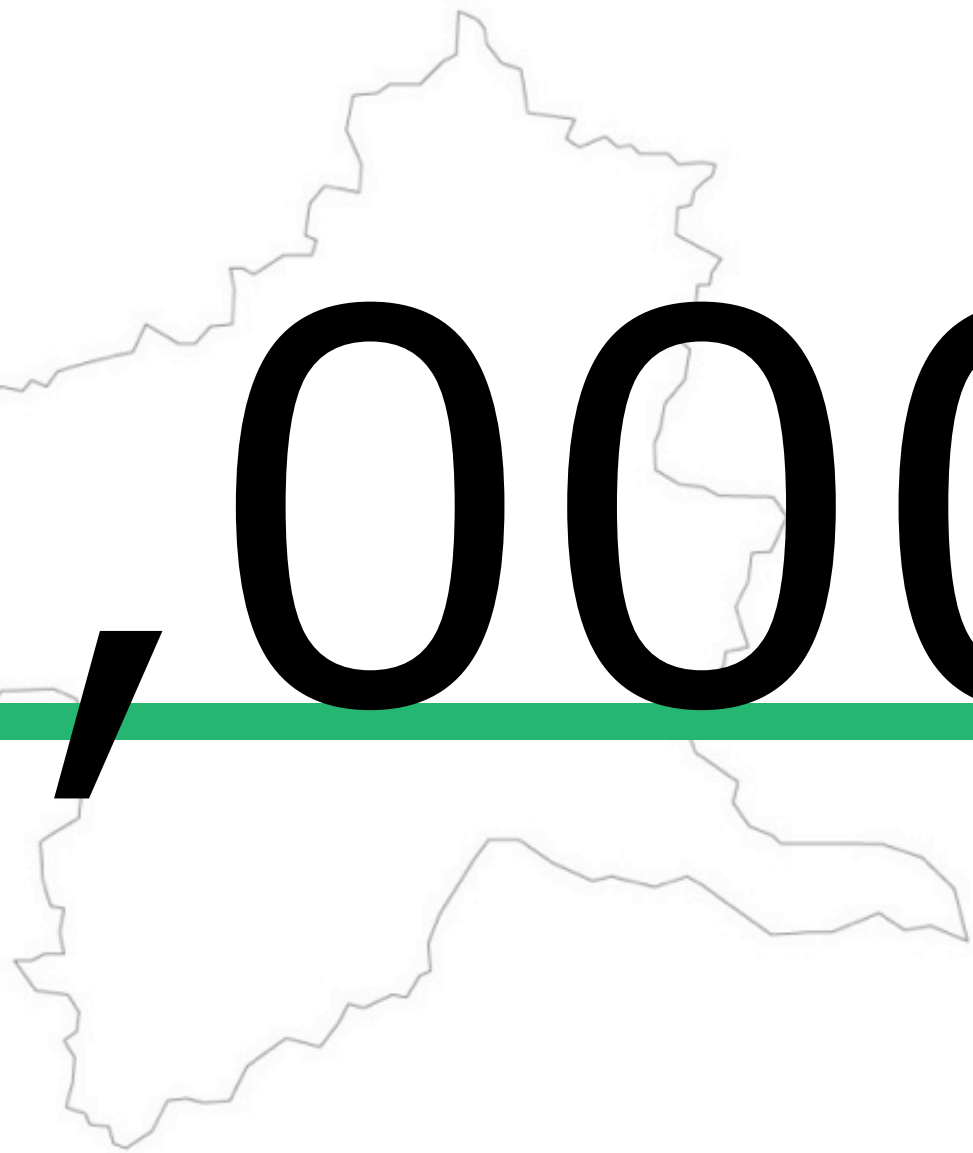
フリースクールこらんだむ

SAME BOAT（交流イベント）

ハンズ（母子家庭学習支援）



11,000人



54

不登校の
居場所を守

想に！ 可なりだが！ 何かが

視点

もし子どもが「学校に行きたくない」と言ったら、あなたはどうしますか？ 多少強引でも学校に行くように伝えるでしょうか。それともいったん休ませて様子を見るでしょうか。

様子を見た後、子どもがそれでも学校に行かないときはどうしますか。そしてどんな気持ちになるでしょうか。

きっと子どもの将来が不安になる人が多いはずですが、でもよく考えてみてください。学校に行かなければ子どもは将来幸せになれるのでしょうか。そんなことはあないはず。大切なことはあなたの目の前にいる子どもに今何が必要なかを考えること。そして学校に行くという選択が子どもの将来のために最善なのかをしっかりと考えることではないでしょうか。

あなたが不安であることはわかります。でも子どもも同じくらい不安な気持ちになっていることを知ってください。私たちは2016年9月に前橋市で初めてのフリースクール「こらんだむ」を開校しました。現在県内各地から15人以上の学校に行っていない子どもが集っています。

こらんだむも学校と同様に基礎学力獲得に向けた学習環境を整備しています。子どもの持つ可能性を伸ばすための

機関です。

学校に行かないという選択肢をとっても、子どもたちが

プログラミング教室や美術教室、子どもや自立を育むための就業体験プログラムも実施している教育



NPO法人「ターサ・エデュケーション」代表理事

いちむら ただみつ
市村 均光

前橋市二之宮町

1歩目踏み出す居場所

将来自立できるようにしたいという思いがあります。

一方でまず私たちが一番大切に行っていることは、こらんだむが子どもたちにとって安

心安全な居場所となる。学校に行っていない私たちは現在の置かれに悩み、苦しみ、疲弊します。私なんか価値がないか。そんな考える子どもがいます。まずはその心を回復

くためにはいけません。「いても大丈夫」と安心してもらうことが必要で心できる場所とは、子どものありのままを受けくれる人がいる場所です。こらんだむは30人ボランティアの方がい

不登校であることを否人は1人もいません。その環境にいることどもたちの心は徐々にいきます。そして自目を踏み出します。その強することかもしれない人と話すことかもしれないもしくは外出することれません。ありのまま

が許される、そんな安

がけることができるから

ヤレンジができると思

っています。

不登校になったこと

ではなく、子どもたち

で価値ある時間をして

ながるように、これか

たちは安心安全な居場

営っていきます。

待つてるよ、大丈夫

所は学校だけじゃない

【略歴】市役所職員

で働く傍ら、社会課

解決に向け、2011

にNPO法人を設立

バラレルワーカー。

高1山梨大教育人間

「学校だけじゃない」

部(現教育学部)卒

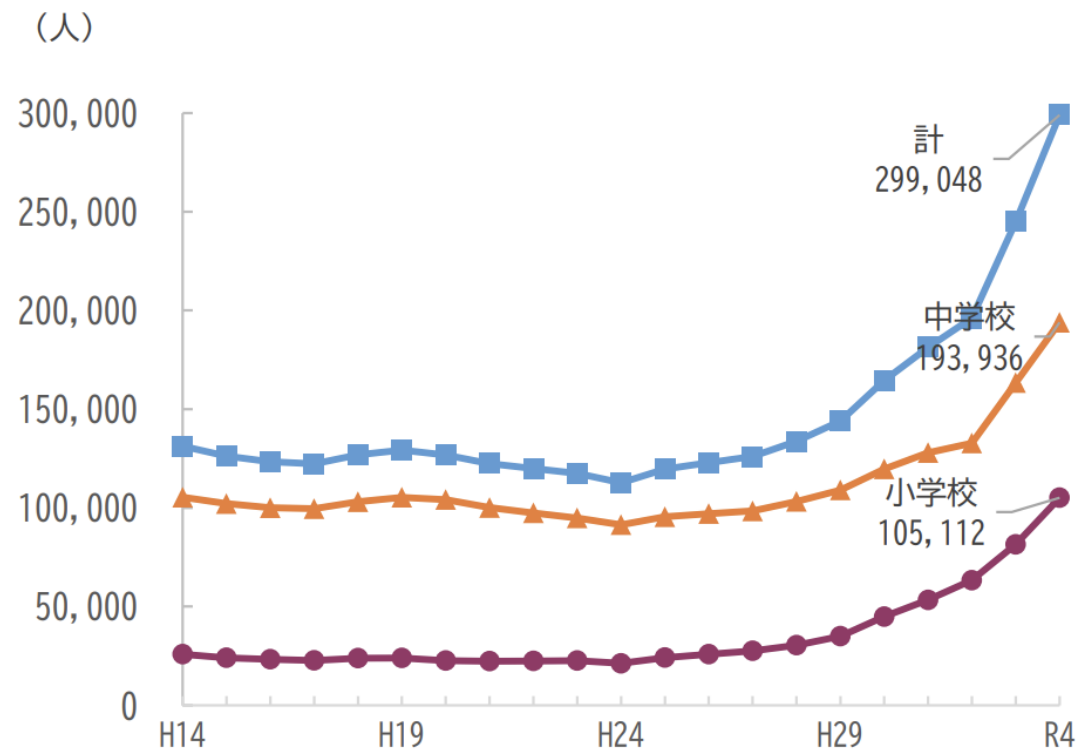




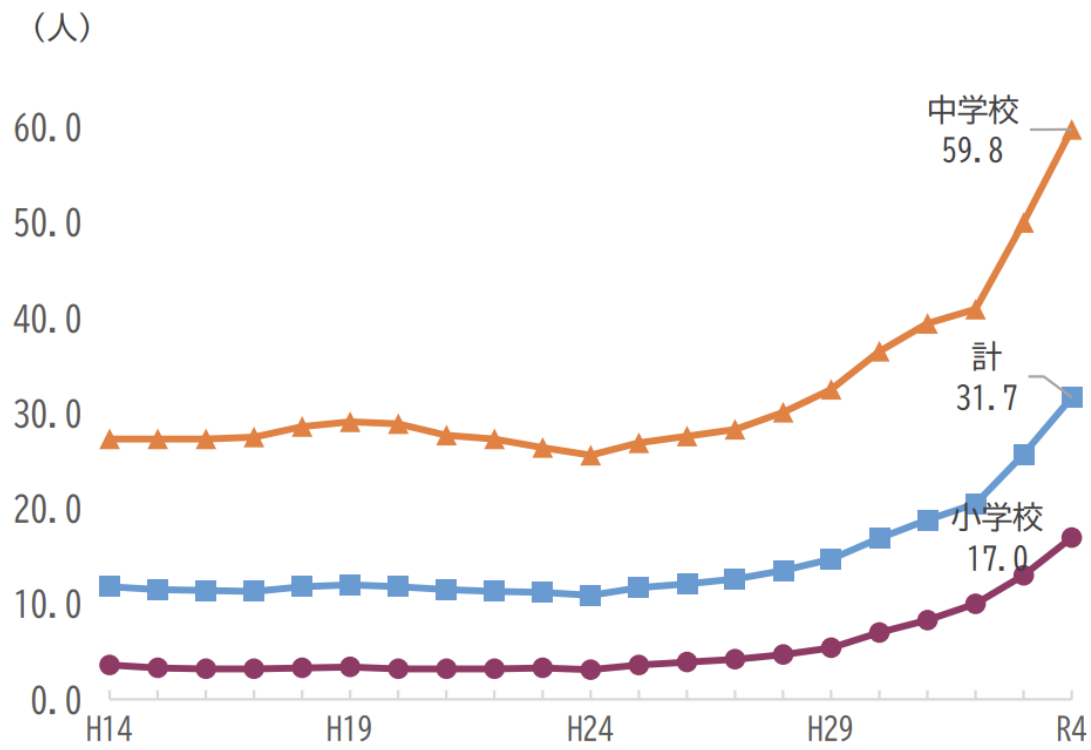
不登校について

不登校児童生徒の多くは学校に行けないことについて引け目を感じており
行くことができない自分は周りと比べてダメな人間であると感じ（劣等感）
意欲を失い無気力となり、
外出することや人と繋がることに恐れている（社会性の低下）

不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数の推移（1,000人当たり不登校児童生徒数）

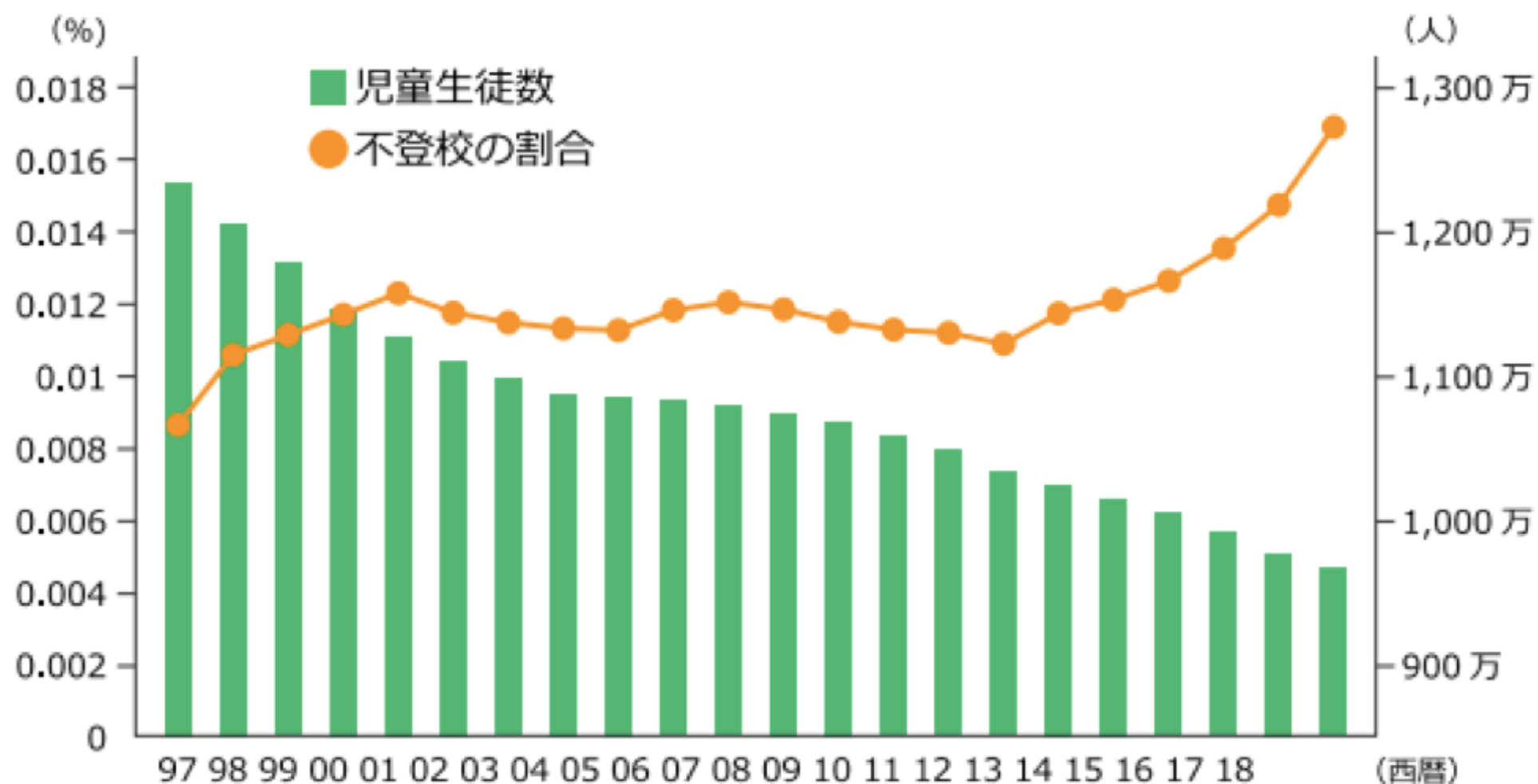


出典：令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

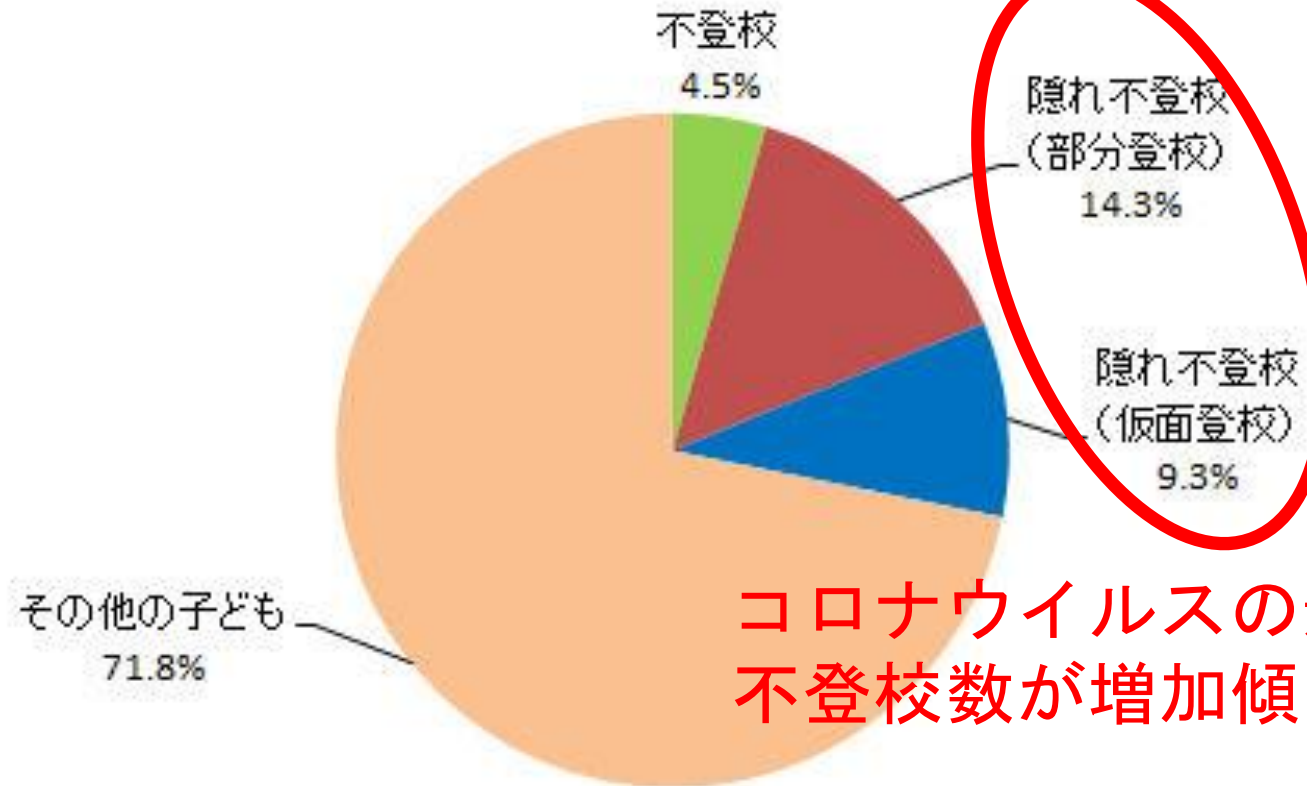
小中学校全児童生徒数と不登校の子の割合

出典：文部科学省

「平成 30 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」



不登校と“隠れ不登校”の割合



5月3日～5月9日にかけて中学生1万8000人に対しNHKが調査を行った（調査協力・LINEリサーチ）を実施した。

出典：不登校新聞ブログ (<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/e8566ccf736928266294e9cda2f0975ec3c77bfd>)

5月30日(木)夜10時



NHKスペシャル

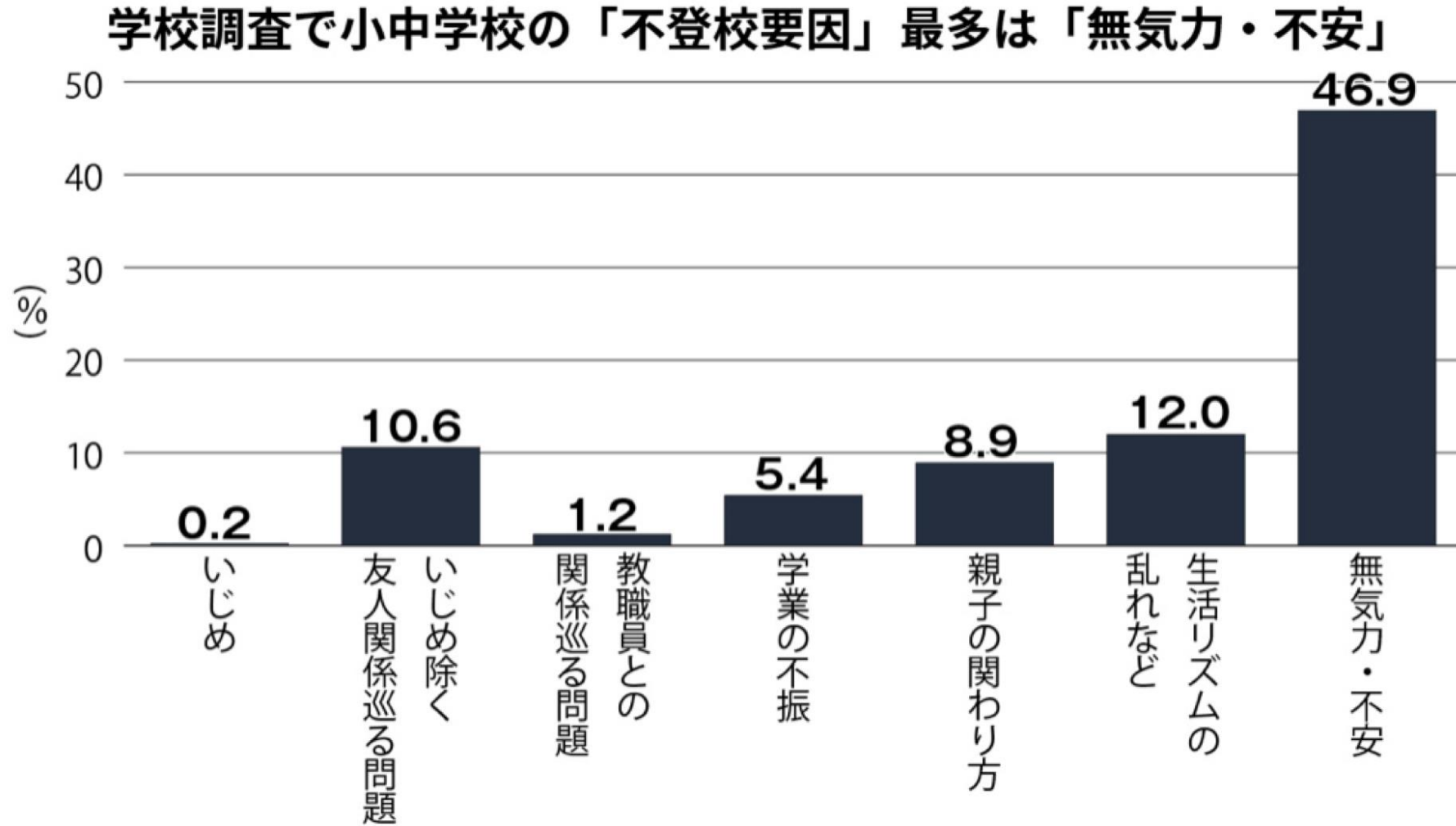
シリーズ 子どもの“声なき声”

第2回

“不登校”

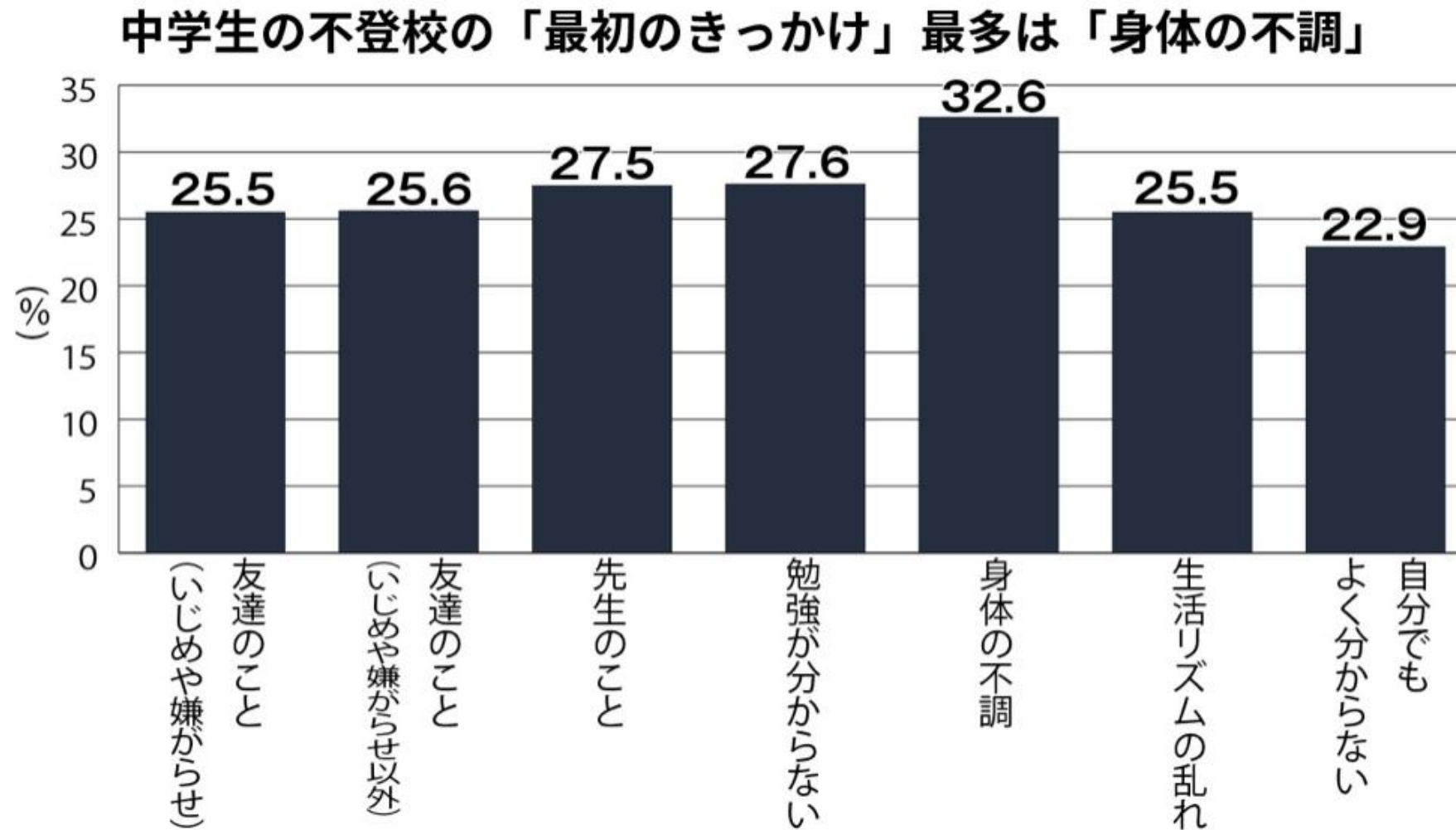
44万人の衝撃

なぜ不登校になるのか



出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（2020）

なぜ不登校になるのか



出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（2020）

なぜ不登校になるのか

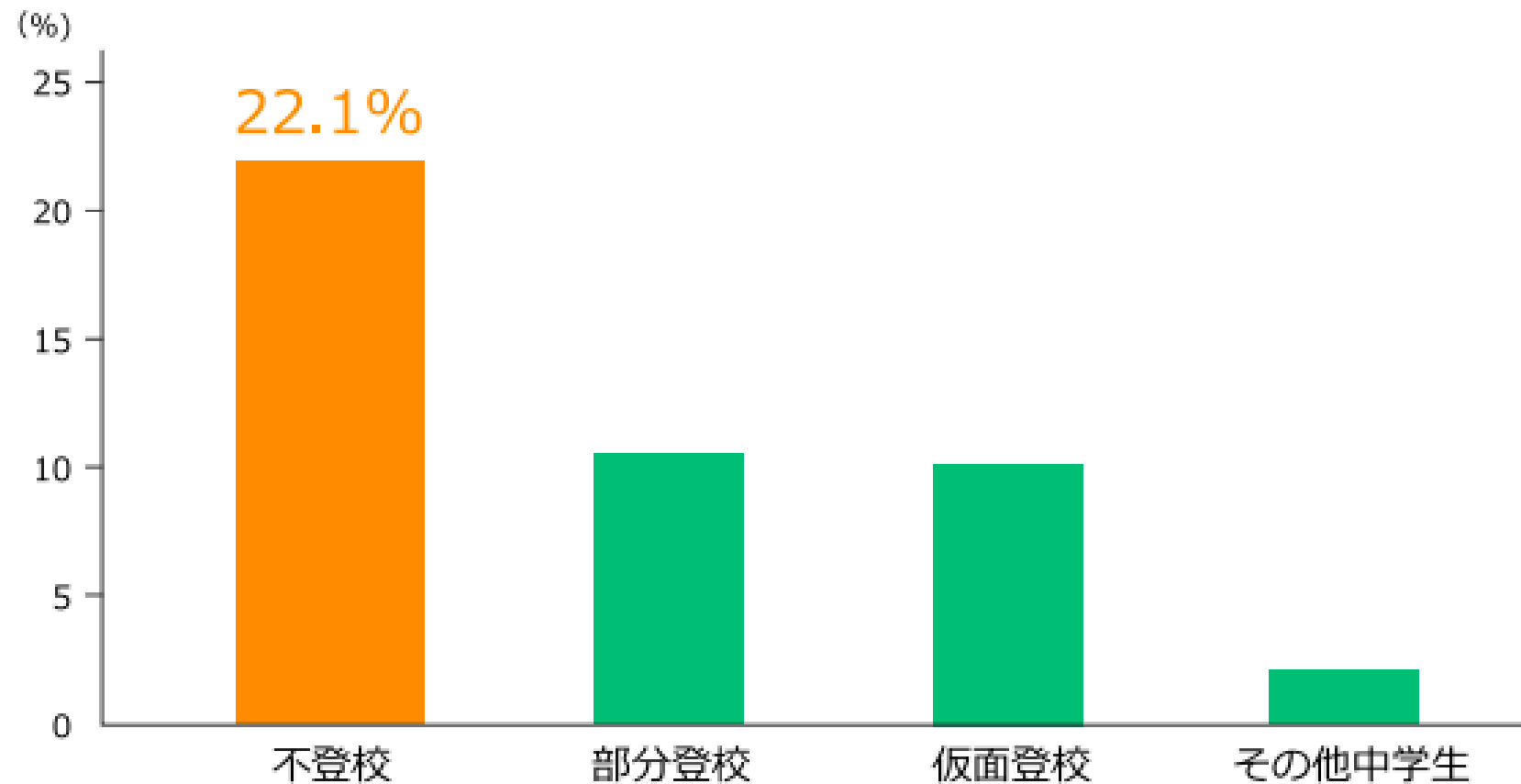
悩みや弱音を吐き出せる居場所がないから
受け止めてくれる支えてくれる人がいないから

居場所



学校と家に「居場所がない」と回答した中学生の割合

出典：不登校新聞記事「「生きていることが辛い」不登校の中学生にLINEで調査」



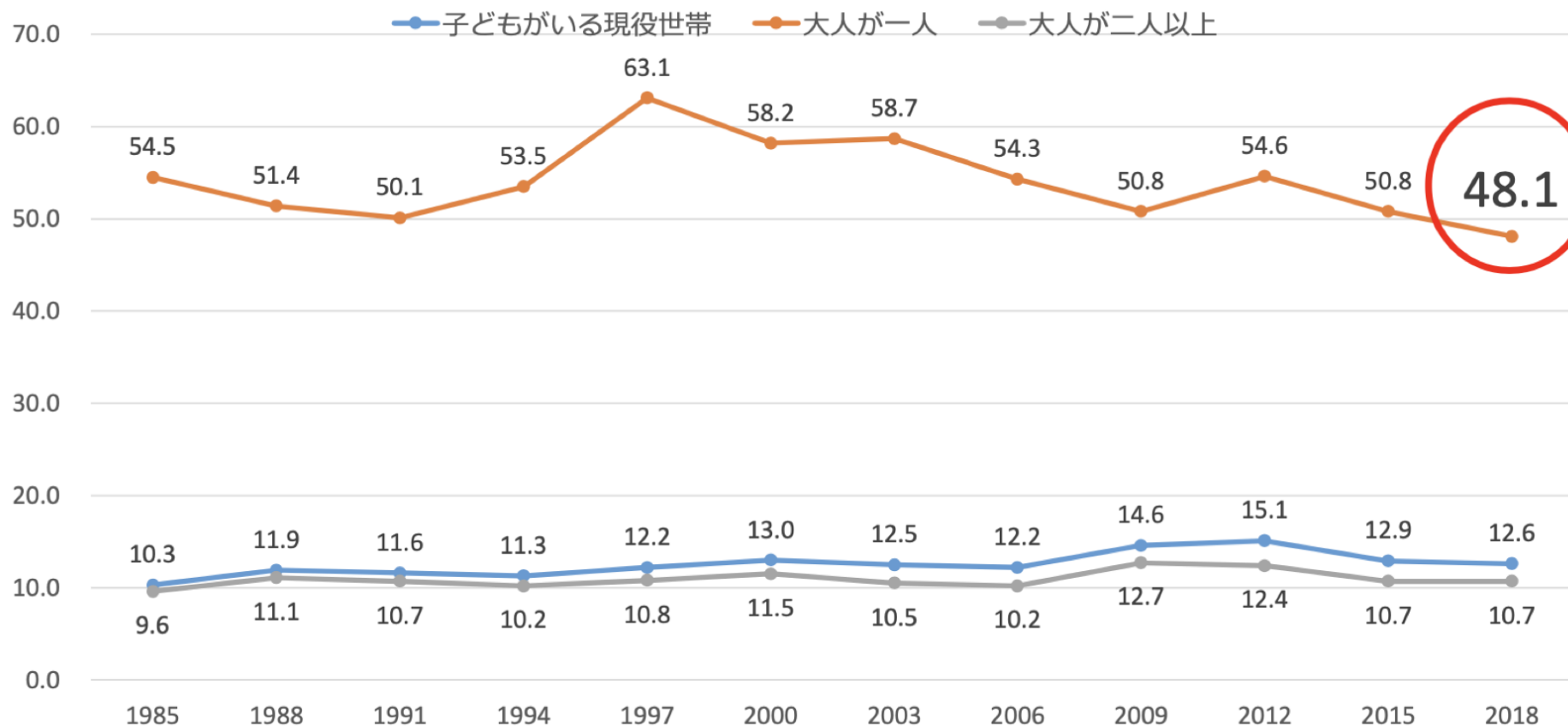
貧困と不登校の関係性

ひとり親家庭の貧困率は48.1%。

(%)

子どもがいる世帯の相対的貧困率（世帯種別）

グラフタイトル



(出典)厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査の概況」

貧困率とは、ある社会や国の人口全体のなかで、貧困と定義される人口が占める比率のこと。一般的には、所得を指標とし、ある所得水準を「貧困線」と設定し、それに満たない所得の人口の比率を「貧困率」としている。
現在採用している基準は、所得分布の中央値の50%を貧困線としている。

等価可処分所得金額別にみた世帯員数の累積度数分布（日本）

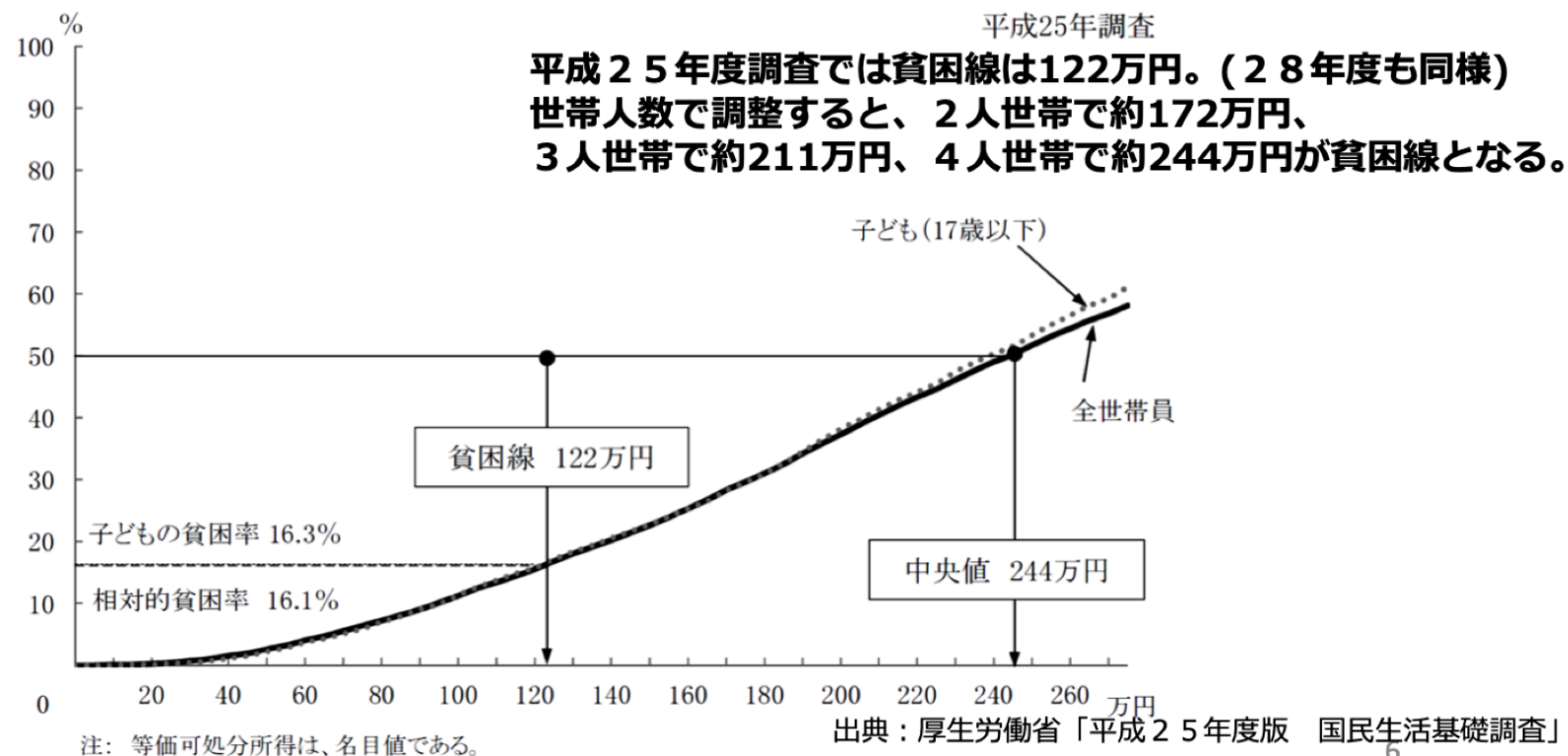
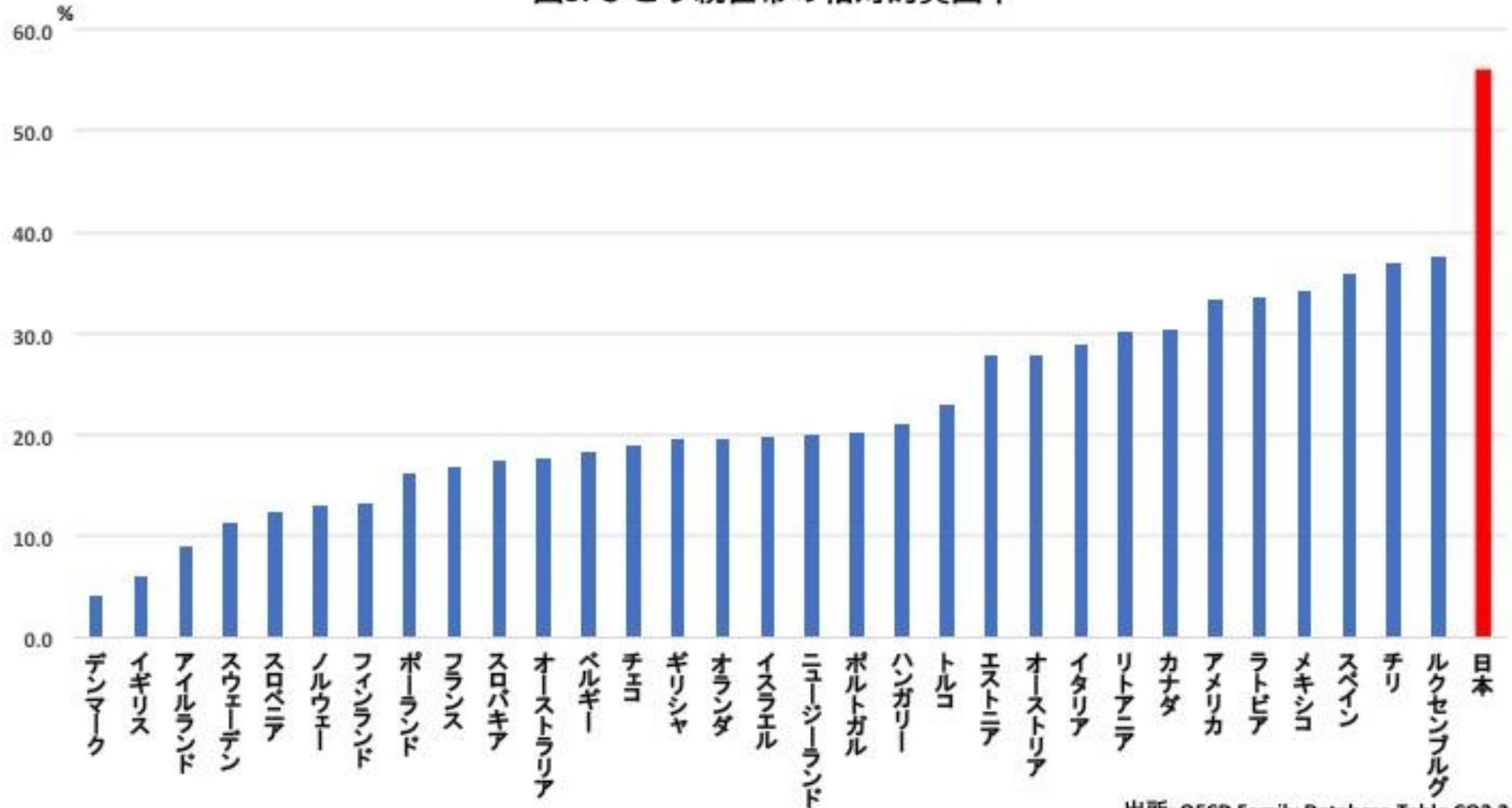
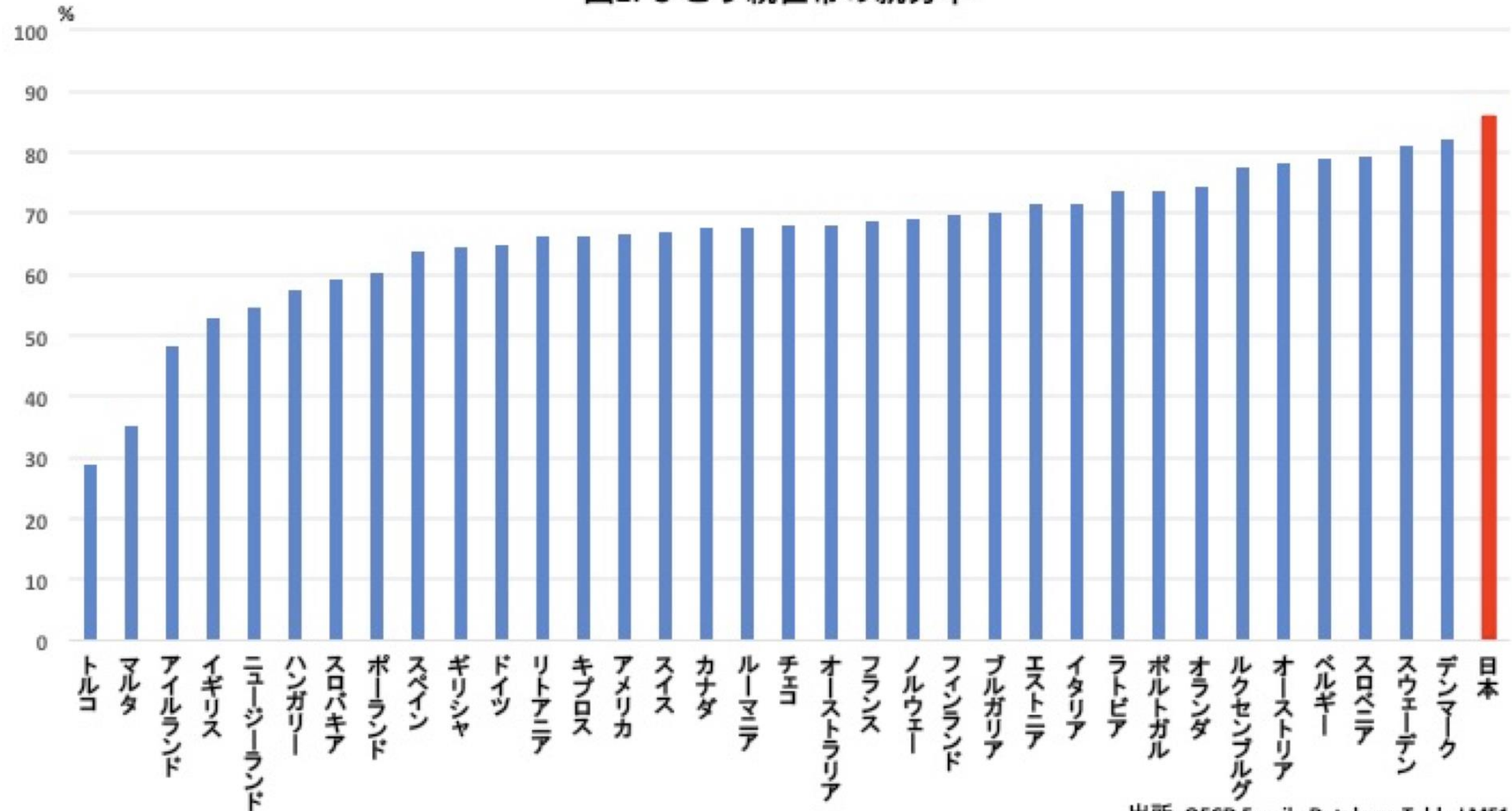


図3: ひとり親世帯の相対的貧困率



出所: OECD Family Database Table CO2.2.C

図2: ひとり親世帯の就労率



経済的に不安、頼れる人がいない、多忙



親自身もいっぱいいっぱい



子どもも感じとり、言いたいと言えない



不安やストレスを溜め込む

子どもが不登校経験あり、
または現在不登校という割合

ふたり親世帯 6.9%

ひとり親世帯 21.9%

出典：ビジネス・レーバー・トレン2017年11月号「ひとり親世帯と子どもの生育環境」

不登校になる前と不登校中の保護者の状況

保護者のうち32%が就労形態が変化し、25%が年収が下降

特に年収200万円未満が増加し、全体の65%を占める

出典：NPO法人カトリバ「不登校と保護者の収入・就労・家計調査」（2022）

不登校児童生徒が安心して過ごすことができる居場所をつくり、
居場所をとおして人と繋がり、自己肯定感や意欲、
社会性を養うと共に、段階を踏みながら、
社会的自立に向けた力を育成する。

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

1.こらんだむについて

こらんだむは県内初のフリースクールとして、平成28年9月1日に前橋市表町に開校しました。

こらんだむという名前の由来ともなっている、子・ランダム＝子どもに規則性はなく、個性を伸ばしていきたい！という思いと、

コランダム＝研磨剤＝磨くと宝石になる原石＝子どもたちがこらんだむで経験すること（磨かれること）で宝石の様に輝いてほしい！という思いの中、

「ありのままの子どもを受け止めて、それぞれの自立につながる場」を目指し、運営しています。

フリースクールこらんだむについて

- ・ 在籍生徒数 前橋校 25名 太田校 10名
- ・ 累計生徒数（不登校支援実績） 123名
- ・ 2022年度高校進学生徒数 3名
- ・ 2022年度学校復帰生徒数 3名
- ・ 出席認定許可市町村 安中市、伊勢崎市、太田市、渋川市、高崎市、前橋市、みなかみ町、藤岡市
計 8 市町村

ースタッフ構成ー

有給職員 6名（うち常勤1名）

ボランティア登録数 60名（2022年3月時点）



○ 安心安全な居場所づくりに必要なこと

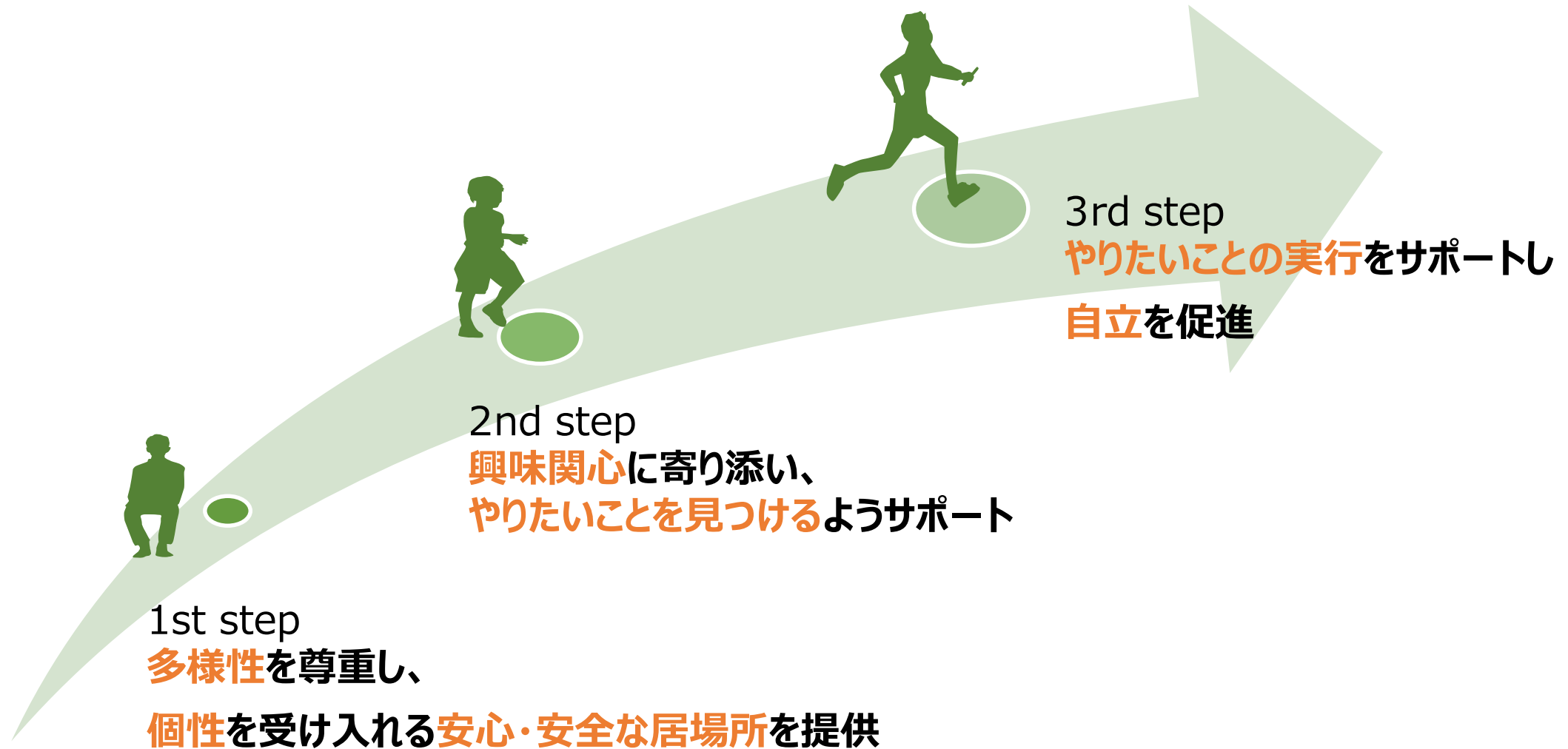
- ・ 子どもの置かれている背景を理解し、配慮すること
- ・ 子どもをわかろうととすること
- ・ 価値観を合わせること

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて



フリースクールこらんだむについて



組織として質の高い学びの機会を提供するための仕組みづくりを重視しています。

ボランティア育成のための研修会の開催

- ✓ 研修会で子どもとの向き合い方の意識統一を図るほか、体系的な知識の習得を通じてターサとしての教育の質を担保。



研修例：

- ✓ “自閉症の理解と関わりについて”
- ✓ “LDやADHDの子どもとの関わりとスクールカウンセラーの現場事例報告”

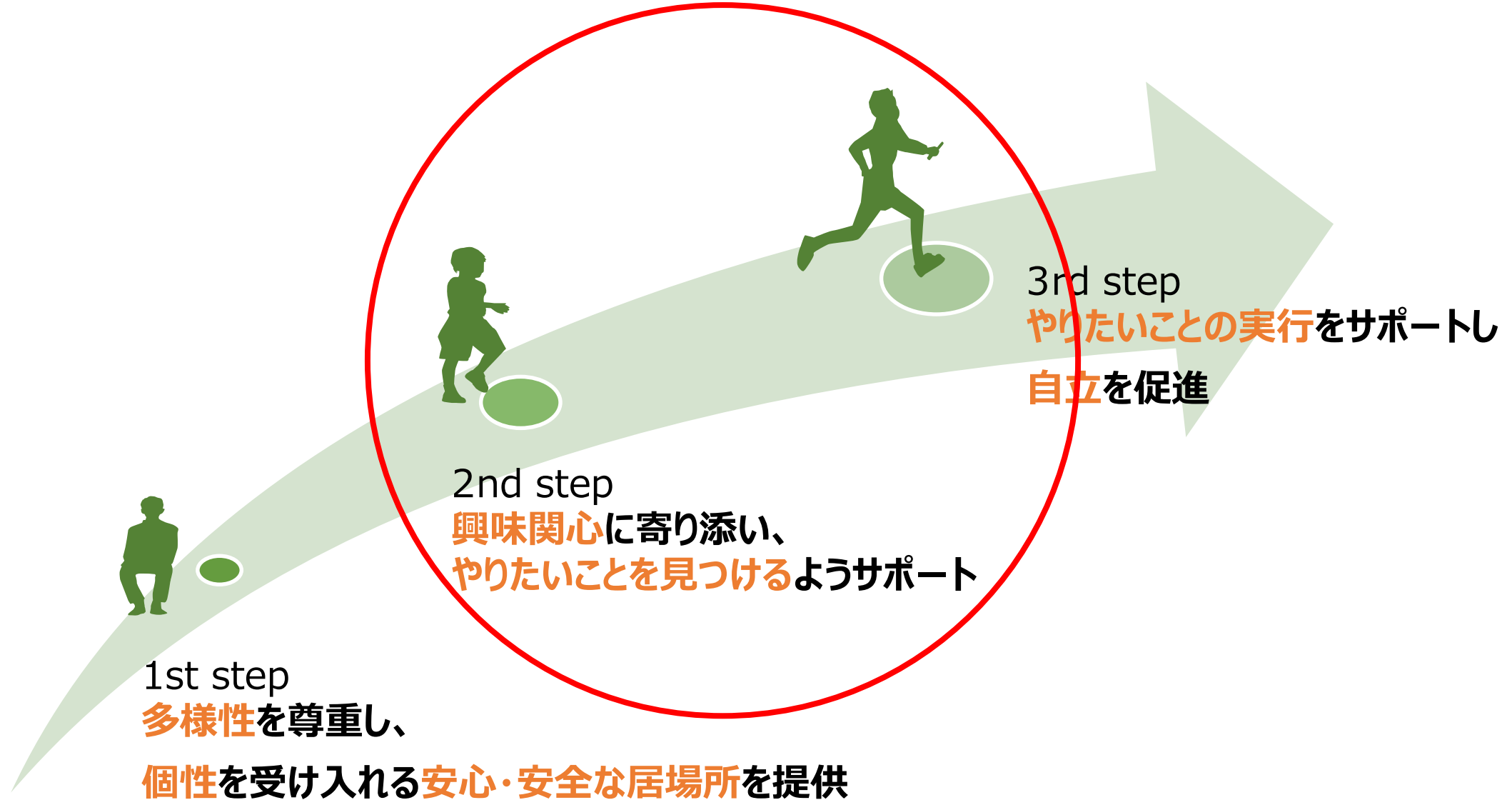


子どもの情報共有システムを活用

- ✓ ボランティア参加者に、子ども一人一人のフリースクールでの様子などを毎回専用のシステムに入力してもらうことで、子どもの情報をデータベースに蓄積・管理。
- ✓ 現在は学校や保護者向けの報告に活用するにとどまるが、将来的には子どもの見えづらい変化を関係者間で共有し、手厚い支援ができるような仕組みを検討中。



フリースクールこらんだむについて

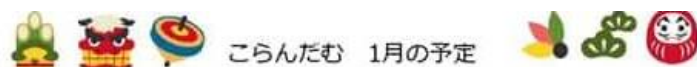


フリースクールこらんだむについて

子どもの気持ちを最優先に、興味があることを好きなだけ学び、自立に繋がられる環境づくりをします。

多様なプログラムの提供

- ✓ 集団授業・オンライン学習サービスによる基礎学力作り。
- ✓ 哲学・美術・プログラミング教室など生徒の興味に応じた特別教室、就業体験を通じ、子どもの興味関心を深堀り。



こらんだむ 1月の予定



JANUARY
令和3年

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 元日	2 休み
3 休み	4 冬休み	5 冬休み	6 学習塾	7 ①そもそも生命とは何か? ②卓球大会	8 ①eboard学習 & オフラインタイム ②今年の目標を話そう!	9 休み
10 こらんだむ 保護者の集い 13時~15時 参加費500円	11 成人の日	12 ①中学数学基礎 ②スマブラ大会	13 学習塾	14 ①様々な死生観について学ぶ ②紙粘土で自由に表現しよう 材料費300円	15 ①マリオカート選手権 ②好きな言葉で書き初めをしよう!	16 休み
17 休み	18 ①プログラミング教室 参加費500円 ①中学英語基礎	19 ①中学数学基礎 ②好きな本・漫画を紹介しよう	20 学習塾	21 ①東日本大震災について知ろう ②アロマ実験PJ キックオフMTG	22 ①上毛かるた大会 ②「子ども企画」年始めのゲームをしよう!	23 休み
24 休み	25 ①中学数学基礎 ②「子ども企画」哲学をしよう4	26 ①中学数学基礎 ②e-sports体験会	27 学習塾	28 ①未来予測と対応 ②こらんだむミーティング	29 ①ボードゲーム大会 ②趣味・興味のあることを語ろう!	30 休み

子ども主体の「マイプロジェクト」で自立を促進

- ✓ 子どもが自分のやりたいことを見つけ、周りに助けを借りつつ実行できるよう背中を押す。
- ✓ 20年度は地域住民間の交流を促す目的でベンチを設置する「幸せのベンチプロジェクト」に希望生徒が参画し、企画から実行まで実施。



フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて



フリースクールこらんだむについて



フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて



フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて

フリースクールこらんだむについて



- ✓ 自分の好きなことができ、自由度が高くて良い。雰囲気良く、周りの大人も親切。
- ✓ 元々消極的な性格だったが、いろんな大人が見守ってくれるので色々なことに挑戦しようと思えるようになった
- ✓ やりたいことが前はなかったが、フリースクールで絵が好きな子、ゲームが好きな子等様々なことの関わりの中で自分のやりたいことについて少しずつ考えられるようになった。
- ✓ ボランティアの方も大学生から最高齢は70歳までいて、いろんな視点から話が聴けて参考になり、自分も前より様々なことを考えられるようになった。
- ✓ スタッフやボランティアの方もしっかり話を聞いてくれて、イベントも子どもたちがアイデアを出し合って、本当にやりたいことだけを実行させてくれるので満足している。

フリースクールこらんだむを
利用した印象は？



学校との連携

- ・ 月次出席報告書の提出。
- ・ 支援者会議への出席。
- ・ 教育委員会との連携。
- ・ こらんだむ内での中間、期末テストの実施。
- ・ 担任、学校長との面談の実施。

保護者との連携

- ・ 月次活動報告書の提出。
- ・ 親の会の開催。
- ・ 公式LINEでの無料相談。
- ・ 出席認定、定期券発行手続きのフォロー。

4月度 出席報告書									
2021年5月1日 藤岡市立小野中学校 学校長様			特定非営利活動法人ターサ・エデュケーション 代表理事 市村 均						
猪股 音羽さんの出席状況について以下の通り報告いたします。									
出席日数: 11日									
日付	来所	帰宅	日々の状況・様子						
2021/4/9	10時	15時	新年度初めての来所でした午前中は自習スペースで学習する予定でしたが、他の利用家庭の面談があったため午後には学習を変更し、体験の子と話をしたり、トランプで手品をしたりしていました。						
2021/4/12	10時	15時	午前中は自習スペースで勉強をして過ごしました。午後はプログラミングをしていましたが、みんなで来月の予定を考える会に参加して、来月やりたいことを話し合いました。						
2021/4/13	10時	15時	午前中は勉強をして過ごしました。午後はイースターエッグ作りに参加し、おもちゃの卵に絵を描いたり、お菓子が入った卵を隠すゲームに参加していました。						
2021/4/15	10時	15時	午前中は自習スペースで英語と数学の学習をしていました。午後は昨年度末から取り組んでいるアロマ実験プロジェクトで実際にオイル抽出の作業をして、オイルが抽出される様子を見て驚いた様子でした。						
2021/4/16	12時	15時	午前中は自宅で勉強をしていたようで、午後からの来所でした。自宅で勉強をしてきたので、今日はこらんだむでは勉強はせず、話をしたりゆったりと過ごしていました。						
2021/4/19	11時	14時	週末誕生日を迎えたことをスタッフに話してくれました。午前中は自習スペースで勉強をして、午後は哲学を語る会に参加して色々なテーマで話し合いをしました。用事で少し早帰りでした。						
2021/4/20	10時	15時	午前中は自習室で勉強をしていました。ボランティアさんに髪をセットしてもらい嬉しそうでした。午後はボランティアさんや同年代の友達と色々話をしていました。						
2021/4/22	10時	15時	午前中は歳の近い子たちと色々な話を過ごしました。お昼前にボランティアさんから「論理的思考を学ぼう」という講義を聞きました。午後は公園へ行って、みんなで気配切りをして盛り上がりました。						
2021/4/26	10時	14時	午前中はみんなで連想ゲームをしました。午後は自習スペースで勉強をして、都合で早帰りでした。						
2021/4/27	10時	15時	午前中は今日も連想ゲームをしました。大人数でとても楽しそうでした。昼食後はホワイトボードにイラストを描いてしりとりをしていました。その後はみんなと話を過ごしていました。						
2021/4/30	10時	15時	午前中自習スペースで勉強をした後、ボランティアさんに髪を巻いてもらっていました。午後は一つ学年が上の女の子とゲームをしたり話をしたりして過ごしました。						
									
所感									
元気に来所出来ました。来所後は自習室で勉強をすることが多いです。アロマ実験プロジェクトでは積極的に意見を出したり、作業をしてくれました。みんなでゲームなどを遊ぶときにはとても真剣で、ポイントを一番獲得して楽しそうに遊んでいます。									
お問い合わせ先: korandom.school@gmail.com フリースクールこらんだむ(担当: 足立・大島・古平)									





不登校の
子どもの母親

ターサのフリースクールに通う前、お子さんの不登校をどう思っていましたか？

- ✓ 学校に行くか行かないかの2択しかないと考えていた。
- ✓ 学校に戻って欲しいという思いが強く、子どもに強要した結果、関係性が悪化…



通ってみてどうですか？

- ✓ スタッフが温かく、子どももだんだん気持ちがほぐれていっているようで、ほぼ毎日楽しそうに通っている。
- ✓ いろんな講師を招聘したり様々な体験をさせてくれる等、学校でできない経験ができる。品質を思うと料金は高くはないと思っている。
- ✓ 「もっと通わせてあげたいけれど料金が…」と他の親御さんが話しているのを聞いたことがあるので、価格が下がればもっと利用したい人はいるのでは。
- ✓ 学校に行く以外の生き方を選んでもいいのではと考えられるようになった。学校に限定することなく、働くことも選択肢として、自分で判断して進んでいってほしい。色んな選択ができる世の中になればいい。



みんなで社会で子どもを育てる

協力 育

「協育」実現に必要なこと

子どもの教育を地域社会全体で支える「協育」を実現するためには、
教育の質をさらに向上させつつ、関係人口を増加させる必要があります。

① 教育の質のさらなる向上

- ✓ プログラムの充実
- ✓ 子どもの情報データベースの活用
- ✓ ボランティア研修の充実
- ✓ 多様なスタッフの確保

協育

② 関係人口の増加

- ✓ ファンドレイジング・広告活動を通じて子供たちに加え、私たちの理念に共感し、寄付、ボランティアなどの何らかの形で活動に関わってくれる方の人数を増やす。

<現在>
200名

<3年後>
500名

<5年後>
1,000名



